

誌 102 本州北西岸水路誌一時関係告示

(昭和 24 年航路告示第 16 号まで集録)

現在  
印  
多  
多

● 21 年 55 項 (一時関係)

内海—下関海峡西口附近 沈船存在

記事 汽船大黒丸 (2,220 t) は昭和 21 年 3 月 1 日 1440 第 1 掃海水道外、下記位置において浮流機雷に触れ沈没した。

位置 蓋井島の北方約 5 M

34° 17.7' N., 130° 46.0' E.

海図 201—179—196

誌類 誌 102. 19 ページ

出所 下関掃海支部

● 22 年 342 項 (一時関係)

本州北西岸—境港 水深減少について

記事 境港防波堤燈台の東方約 500 m 附近から引地鼻南方附近に至る水路は図載の水深より 2—3 m 減少し、最近の出入港船舶が下記位置において底触したとの報告に接したから出入港船舶は注意せられたい。

位置 境港防波堤燈台 (35° 33.0' N., 133° 16.5' E. 概位)

からの	方位 (°)	距離 (m)	底触船舶の喫水 (m)
(イ)	81	500	3.75
(ロ)	64	260	3.23
(ハ)	45	260	5.10
(ニ)	325	280	5.00
(ホ)	269	1,330	4.50

海図 116 (分図共)

誌類 誌 102. 59 ページ

出所 船舶運営会境港駐在員事務所

(635177)

( 4 )

● 23年 312 項 (一時関係)

本州北西岸——蓋井島北北東方 燈浮標消燈

記事 下関掃海水路第 3 水道第 1 号燈浮標は昭和 23 年 4 月 14 日消燈した。

位置 蓋井島の北北東方 約 5 M

34° 11.0' N., 130° 49.8' E. (概位)

略記 Fl. ev. 4 sec. 7½ M.

海図 201—179—196

誌類 誌 102. 19 ページ—誌 411. 718 番

出所 九州海運局掃海部

(691378)

● 23年 358 項 (一時関係)

本州北西岸——浜田港 燈台消燈

記事 馬島燈台は昭和 23 年 4 月 26 日消燈していた。

位置 馬島西端

34° 54.0' N., 132° 02.9' E. (概位)

略記 Gp. Fl. (2) W. R. ev. 15 sec. 33 m. 16½ M.

海図 1175 (浜田港)—149

誌類 誌 102. 40 ページ—誌 411. 818 番

出所 角島無線報

(691388)

( 5 )

● 23年 555 項 (一時関係)

本州北西岸——船川港 暗岩存在

記事 船川港下記 3 位置に水深各 5 m の暗岩が存在する。

位置 ふとう南東端 (39° 52.3' N., 139° 51.4' E. 概位) から

(イ) 104° 137 m

(ロ) 85° 372 m

(ハ) 84° 400 m

備考 ふとうに至る水路は 2 燈 (未点燈) 一線上を航行すれば安全である。

海図 148 (船川港)

誌類 誌 102. 184 ページ

出所 船舶運管会船川出張所

(438036)

● 23年 616 項 (一時関係)

本州北西岸——竹島 空中射撃訓練区域設定

記事 連合軍では竹島西方附近下記区域を空中射撃訓練区域に指定した。附近航行船舶は注意を要する。

区域 37° 15' 00" N., 131° 37' 00" E. の地点を中心とし半径 5 M の圏内海面。

海図 162

誌類 誌 102. 58 ページ

出所 米國海軍

(780240(8))